

# 誰もが安心して暮らし続けられる 地域づくりに向けて…

社協では、「自分の地域をもっと豊かに、もっと安心して暮らせる場所にしたい!」という想いの実現をサポートするため、市内に7名の『生活支援コーディネーター兼地域福祉支援員（以下、「生活支援Co」）』を6か所の地域福祉支援室に配置しています。

今月号では、生活支援Coがこだわりをもって取り組んでいる内容を「結ぶ」「創る」「伝える」という3つのキーワードにのせてご紹介します!

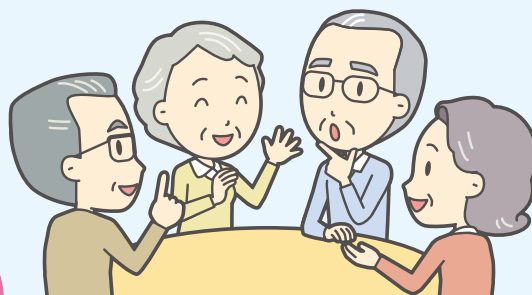
こだわり  
その1

## 地域の困りごとを解決するために、地域住民・ 地元企業・福祉施設などあらゆる主体を **結ぶ**

あるとき、乙原公民館で開催されていた「いきいき百歳体操」を訪ねると、参加者の方から「介護保険制度や、ベッド・杖等の介護用品のことをもっと詳しく知りたい!」というお話を伺いました。



そこで!生活支援Coは、地域役員の方が長年、「やってみてほしいなあ…」とお話されていた「ふくしフェア」の開催を後押しし、地域内で話し合いがすすめられました。



起 承  
展 ( 転 )

そして、昨年11月に「乙原ふくしフェア」が開催されました。生活支援Coが、高齢者向けの食事宅配会社や介護用品を取り扱っている会社と地域を**結び**、フェアに参加していただきました。

後日、地域の高齢者の方が早速に問合せされ、困りごとが解消するなど、気軽に相談できるようになったそうです。



いろんな介護用品や介護保険制度について知ることができ、大変参考になった。参加してよかった。

様々な方が関わっておられて、これから安心して生活していけると思う。近所等でできることから助けあいたいと思った。